

事業成果報告書

[取組 I] 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 兵庫県教育委員会
2. 取組の名称 : 小中一貫教育調査研究事業

3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

学校教育法等の改正による小中一貫教育の制度化を踏まえ、本県においても、学識経験者、行政関係者、学校関係者等で組織する小中一貫教育調査研究委員会を設置して、指定地域である姫路市、豊岡市、養父市における小中一貫教育の取組の成果や課題の分析、県内の他の地域における小中一貫教育の取組の情報収集を行い、その内容の周知を図ること、県内各市町における小中一貫教育・小中連携教育の取組を支援する。

(2) 事業の実施状況

県教育委員会においては、小中一貫教育調査研究委員会を3回開催し、指定地域における取組の情報共有と期待される成果や課題、課題への対応策についての検討を行った。また、県内6カ所で県内全小・中学校の教員が参加する地区別教員研修を実施するとともに、年度末には本事業の中間まとめを作成し、県内全小・中学校に配布した。指定地域においては、取組協力校を中心に、小中一貫教育の取組を進めるとともに、豊岡市においては、併設型小・中学校のモデル校を設置し、姫路市・養父市においては、昨年度に引き続き、制度化への対応等についての検討を行った。

(3) 事業の成果

県教育委員会においては、地区別教員研修や中間まとめの配布により、各市町組合教育委員会における小中一貫教育や一貫教育の視点を取り入れた小中連携教育の充実に向けた取組を支援することができた。

指定地域においては、豊岡市の2中学校区で併設型小・中学校で9年間を見通して、教育課程の特例による「ふるさと教育」・「英語教育」・「コミュニケーション教育」のモデル事業を展開している。また、姫路市においては義務教育学校設置に向けた検討が具体化しており、養父市においても、併設型小・中学校設置に向けた取組が具体化している。

(4) 今後の取組予定

県教育委員会においては、県内の小学校6年生・中学校1年生の一部を抽出して質問紙調査を実施し、小中一貫教育ならではの成果について評価・検証を行うとともに、質問紙調査の分析結果や取組協力校における成果と課題への対応策等を掲載した最終報告を作成・配布する。また、全県フォーラムを開催して、報告の内容の周知を図る。指定地域においては、豊岡市においては全中学校区を併設型小・中学校に移行する。姫路市は平成30年度の義務教育学校開校に向けて委員会を立ち上げ具体的な検討を行う。養父市は平成31年度までに市内4中学校区を併設型小・中学校に移行するため、カリキュラム作成に向けた取組を進める。

4. 取組 I の実績

(1) 取組のねらい

学校教育法等の改正による小中一貫教育の制度化を踏まえ、本県においても、学識経験者、行政関係者、学校関係者等で組織する小中一貫教育調査研究委員会を設置して、指定地域である姫路市、豊岡市、養父市における小中一貫教育の取組の成果や課題の分析、県内の他の地域における小中一貫教育の取組の情報収集を行い、その内容の周知を図ることで、県内各市町における小中一貫教育・小中連携教育の取組を支援する。

2) 取組 I の実施状況（平成28年度）

5月	○小中一貫教育調査研究委員会委員の選定
6月	○第1回小中一貫教育調査研究委員会の開催準備 ○地区別教員研修に係る各教育事務所への開催依頼
7月	○第1回小中一貫教育調査研究委員会の開催【7/13】 ・教職員の多忙化や負担感の解消、意識改革について ・小中一貫教育の制度化について ○取組協力校訪問（小野市立河合中学校）【7/22】
8月	○第2回小中一貫教育調査研究委員会の開催準備
9月	○第2回小中一貫教育調査研究委員会の開催準備 ○地区別教員研修（淡路地区）の開催【9/27】
10月	○第2回小中一貫教育調査研究委員会の開催【10/12】 ・取組協力校（小野市立河合中学校）での開催 ・調査研究のまとめ（中間まとめ）について ・小中一貫教育の評価・検証に係る質問紙調査について ○地区別教員研修（但馬地区）の開催【10/21】 ○小中一貫教育全国サミット（武蔵村山市）への参加【10/21～22】 ○地区別教員研修（阪神地区）の開催【10/27】
11月	○地区別教員研修（播磨西地区）の開催【11/4】 ○取組協力校訪問（豊岡市立城崎中学校）【11/7】
12月	○第3回小中一貫教育調査研究委員会の開催準備 ○地区別教員研修（丹波地区）の開催【12/1】 ○地区別教員研修（播磨東地区）の開催【12/5】
1月	○第3回小中一貫教育調査研究委員会の開催準備 ○中間まとめの作成 ○取組協力校訪問（神戸市立義務教育学校港島学園）【1/13】 ○取組協力校訪問（姫路市立広嶺中学校）【1/27】
2月	○第3回小中一貫教育調査研究委員会の開催【2/9】 ・調査研究のまとめ（中間まとめ）について ・小中一貫教育の評価・検証に係る質問紙調査について ・平成29年度の事業内容について ○中間まとめの発注
3月	○中間まとめの配布（3,000部：県内小・中学校）

(3) 取組の成果

小中一貫教育を全域で推進する自治体数について、平成27年度は2市であったが、平成29年度の導入予定は8市となっており、小中一貫教育が全県的な広がりを見せようとしている。

※協力市教育委員会におけるH28全国学力・学習状況調査の結果（学校質問紙）

→多くの項目で全国平均を大きく上回っている

		肯定的回答の合計				
		国	県	姫路市	豊岡市	養父市
前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と教育目標を共有する取組を行った	小学校	54.5	47.9	92.8	62.0	55.5
	中学校	61.5	60.6	94.3	88.9	50.0
前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と授業研究を行うなど、合同して研修を行った	小学校	62.5	59.9	81.1	69.0	88.9
	中学校	72.5	76.9	91.5	88.9	75.0
前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と意見を交換し合うなど、教員同士の交流を行った	小学校	80.0	81.9	92.8	96.5	100.0
	中学校	85.0	86.7	97.1	88.9	100.0
前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った	小学校	47.1	40.7	72.4	62.1	44.4
	中学校	54.9	51.6	77.1	66.6	75.0

(4) 今後の取組予定

小中一貫教育の成果の可視化に向け、小学校6年生・中学校1年生とその担当教員を対象とした質問紙調査を実施し、取組協力校とその他の学校の回答状況の比較検討を行う。また、県が設置する小中一貫教育調査研究委員会における協議結果をまとめた最終報告を作成し、全小・中学校に配布するとともに、全県フォーラムを開催し、普及啓発を図る。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	姫路市教育委員会	
Ⅱ-2	豊岡市教育委員会	
Ⅱ-3	養父市教育委員会	

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 1

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 姫路市教育委員会

住所 : 兵庫県姫路市安田4丁目1番地
代表者職・氏名 : 教育長・中杉 隆夫

2. 取組の名称 : 施設併設型・分離型で進める小中一貫教育の可能性

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

小中一貫教育新制度検討懇話会を開催し、これまでの成果と課題を踏まえ、本市の小中一貫教育を一層推進するための方策について、義務教育学校設置も含めて方針を決定する。学力向上推進懇話会においては、全国学力・学習状況調査を基に実態把握・分析を行い、授業改善に向けた取組の方向性を検討する。また、引き続き、施設が離れていても指導内容・指導方法・指導形態で一貫した教育を行うことで成果につながるのか、児童生徒や教職員を対象とした実態調査を実施し、研究を進める。

(2) 取組Ⅱの実施状況 (平成28年度)

5月	(市費) 管理職対象の研修「小中一貫教育新制度について」 (市費) 小中一貫教育新制度検討懇話会
6月	(市費) 小中一貫教育新制度検討懇話会
7月	(市費) 夏季中学校ブロック合同研修会「学力向上について」 (本事業) 小中一貫教育新制度啓発リーフレット配布
8月	(市費) ひめじ教育フォーラム 基調報告「小中一貫教育のこれまでとこれから」 (市費) 夏季中学校ブロック合同研修会「学力向上について」 (市費) 小中一貫教育担当者会
9月	(市費) 中学校ブロック合同研修会「キャリア教育」
10月	(本事業) 白鷺中学校ブロック実践発表会 (市費) 小中一貫教育全国サミット参加
11月	(市費) 学力向上推進懇話会 (市費) 小中一貫教育推進期間 (中学校ブロックオープンスクール)
12月	(市費) 学力向上推進懇話会
1月	(本事業) 実態調査 (児童生徒・教職員対象意識調査) (本事業) 広嶺中学校ブロック実践発表会 (市費) 学力向上フォーラム

2月	(市費) 小中一貫教育担当者会 (市費) 姫路きょういくメッセ (市費) 実態調査を基にした分析 (本事業) 実態調査結果の印刷
----	---

(3) 取組の成果

小中一貫教育新制度検討懇話会では、本市の小中一貫教育を一層推進するための方策の一つとして、義務教育学校設置を前向きに検討することを決定し、公募を行った。モデルブロックにおける実践発表会においては、市内小中一貫教育担当者が参加することで先行的な実践を市全体で共有することができた。

全国学力・学習状況調査や市で実施している実態調査の結果から小中一貫教育の成果を検証し、ひめじ教育フォーラムにおいて基調報告「小中一貫教育のこれまでとこれから」を実施した。

(4) 今後の取組予定

中学校ブロックの実態に応じた小中一貫教育を引き続き進めていくことで、「学力の向上」と「人間関係力の育成」を目指すとともに、義務教育学校の設置を前向きに検討し、本市教育の充実を図る。

施設が離れていても指導内容・指導方法・指導形態を一貫して取組を進めることで成果につながるのか継続して検証を行う。また、保護者や地域住民とともに義務教育期間の共通目標やビジョンを共有して、小中一貫教育を一層推進する方策についても検討する。

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力的市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－２
------	-----

1. 協力的市町村教育委員会等の名称 : 豊岡市教育委員会

住所	: 兵庫県豊岡市中央町2番4号
代表者職・氏名	: 教育長・石高 雅信

2. 取組の名称 : 「夢実現力」を育む小中一貫教育「豊岡こうのとりのプラン」

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

①	一人一人の子どもたちの夢実現力（なりたい自分になるためがんばりぬく力）を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。
②	豊岡市の3つの教育課題（不登校問題・学力の二極化の問題・特別な支援が必要な子どもたちへの教育的ニーズに対応する問題）の改善を図る。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

5月	(市費) 豊岡市小中連携教育推進協議会（推進テーマの確認・各中学校区での実践事項の小中一貫教育への位置づけ確認・講師招聘） (市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (市費) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (市費) モデル中学校区（但東中校区）小学校6年生中学校体験（1回）
6月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (本事業) 但東中小中一貫教育合同研修会
7月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助
8月	(本事業) 小中一貫教育全教職員研修会（講師招聘） (市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (本事業) 豊岡市英語教育基礎研修（講師招聘）
9月	(本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (市費) 城崎小中合同運動会
10月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (本事業) モデル中学校区（但東中校区）小学校6年生中学校体験（4回） (本事業) 但東中小中一貫教育合同研修会 (市費) 各中学校区保護者説明会（1中学校区）
11月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会（各校作業進捗状況管理） (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (市費) 各中学校区保護者説明会（5中学校区）

12月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (各校作業進捗状況管理) (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (市費) 各中学校区保護者説明会 (3中学校区)
1月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (各校作業進捗状況管理) (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助 (本事業) モデル中学校区 (但東中学校区) 小学校6年生中学校体験 (5回) (市費) ふるさと教育研修会
2月	(市費) 各中学校区小中一貫教育推進委員会 (H29一貫ブロック運営計画作成) (本事業) 豊岡市小中連携教育推進協議会 (各中学校区での一貫の取組確認・講師招聘) (本事業) 英語コミュニケーション補助員によるモデル小学校での英語学習補助

(3) 取組の成果

<p>①全教職員研修会を開催し、小中一貫教育の実践に向けた情報共有と共通理解を行った。また、ふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育についての各研修会が開催され、教職員が教材理解を深めたり、実際の授業を参観したりして、指導のポイントやイメージを学ぶことができた。</p> <p>②ローカル&グローバル学習の時間の指導計画が完成した。各ワーキンググループが主体となり、ふるさと教育では標準カリキュラム及び単元指導計画等、英語教育では英語教育推進委員会と連携して英語遊びカリキュラムシート等、コミュニケーション教育ではめざすコミュニケーション能力の育成の視点とその留意点一覧、演劇的手法を取り入れた年間指導計画表及び学習指導案等を作成した。</p> <p>③各中学校区での小中一貫教育推進体制が確立した。各中学校区ごとに小中一貫教育推進委員会が開催され、小中一貫教育推進構想図の作成、保護者説明会の開催、引継連携システム強化など、小中教職員の協議・連携が一層活発になり、中学校区の特色を生かした取組が進んでいる。</p>

(4) 今後の取組予定

<p>①「ローカル&グローバル学習の時間」の各計画に沿った共通実践を行うとともに、各中学校区の特色を生かした「学習指導と生活指導」において、小中で系統性と一貫性のある寄り添い方で具体的な実践を積み重ねる。</p> <p>②豊岡こうのとりプランについては、市全体として平成31年に第1回目の見直しを行う (第1回目は次期学習指導要領の全面実施前にプランの内容と学習指導要領との整合性を確認)。各中学校区及び各校で行う評価・改善の内容・方法については、一律に設定せずに、各中学校区でアンケートを行う等、評価・改善の内容・方法を定める。</p> <p>③「ローカル&グローバル学習の時間」及び「学習指導と生活指導」の2つの取組について、小中一貫教育推進協議会や各種研修会を活用し、実践交流等を行う。</p>
--

事業成果報告書

【取組Ⅱ】 協力的市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－３
------	-----

1. 協力的市町村教育委員会等の名称 : 養父市教育委員会

住所	: 兵庫県養父市広谷 250-1
代表者職・氏名	: 教育長・足立 篤史

2. 取組の名称 : 養父市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

養父市では、①地域の活性化、②中1ギャップの解消、③知・徳・体の向上を「目指す教育像」とし、それに向けて小中一貫教育という手段を活用する。将来的に市内4中学校区全てを小中一貫教育校とするために、昨年度に引き続き、先行モデル校2中学校区（施設隣接型、施設分離型）を設定して推進してきた。現在各校区で取り組んでいる小中連携における取組をベースとしながら、「ふるさと教育の推進」、「9年間を見据えたカリキュラムの作成（ふるさと教育、キャリア教育）」、「相互乗り入れ授業」、「教職員の効果的な研修」等を中心としながら、教育像に迫る取組を進めてきた。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成28年度）

7月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進（「やぶ・ふるさとキャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等）。 ・1日（金）小中一貫教育の推進についての校長会を実施。共通理解、今後の取組についての話し合い。 ・4日（月）先進校視察研修（呉市立中央学園、呉市立川尻小・中学校）。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13日（水）9年間の学年系統性を生かした手作り弁当の日を小中学校で同日実施。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8日（金）小学6年生の中学校登校。 ・27日（水）学校職員による推進委員会を開催。進捗状況の確認、今後の方策に向けての協議。 ・27日（水）学年部会を開催し、授業研究会等について計画立案。
8月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進（「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等）。 ・18日（木）市全職員研修会にて、講師を招聘（京都産業大学教授・西川信廣氏）。モデル校区での取組についての交流。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3日（水）SC等を活用した第1回カウンセリング・マインド研修会を小・中学校合同で開催。 ・28日（日）PTA小中合同資源回収。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8日（月）学年部会（中期部会）。 ・18日（水）教科等部会を開催。授業研究会、カリキュラム等についての研究。 ・23日（火）理数部会を開催。講師を招聘（京都産業大学教授・牛瀧文宏氏）。

9月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市小中一貫教育の取組について、市教育委員会広報誌で広く紹介。進捗状況の可視化を図り、周知。 ・モデル校での活動推進(「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等)。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28日(水)小中一貫合同研修会を実施。家庭学習の手引きの作成、SNS利用のルール等の検討。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28日(水)教科等部会を開催。授業研究会等を実施。理数部会では、講師を招聘(京都産業大学教授・牛瀧文宏氏)。 ・30日(金)小学6年生の中学校登校。
10月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進(「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等)。 ・28日(金)先進校研究報告会視察研修(京都市立凌風学園)。 ・31日(月)市内で小小連携に係る活動(移動プラネタリウム体験)(バス利用)。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12日(水)小中一貫合同研修会を実施。道徳の授業研究等。 ・14日(金)小中合同PTA教育講演会「こどものSNS家庭のルールづくりかた」。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14日(金)小学6年生の中学校登校。 ・21日(金)中学校区内の小小連携に係る活動(養父中校区5年生交流会)(バス利用)。 ・21日(金)特別支援部会を開催。取組の共通理解や研修。 ・26日(水)教科等部会を開催。授業研究会等。
11月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進(「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等)。 ・1日(火)先進校視察研修(京都市立東山泉学園)。 ・15日(火)次年度の実施に向け、八鹿青溪中学校区において6年生交流会。 ・28日(月)先進校視察研修(京都市立東山開晴館)。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9日(水)小中合同研修会を実施。今後の活動についての詳細な計画立案。 ・22日(火)歯磨き指導(中学生が小学生へ出前歯磨き指導を行う)。 ・22日(火)～25日(金)小学5年生が中学校へ出向き、中学生と合同で清掃体験。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18日(金)小学6年生の中学校登校。 ・30日(水)教科等部会を開催。授業研究会等を実施。理数部会では講師を招聘(京都産業大学教授・牛瀧文宏氏)。
12月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進(「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等)。 ・8日(木)次年度の実施に向け、八鹿青溪中学校区において6年生交流会(バス利用)。 ・13日(火)市内全中学校区を単位とした推進協議会の開催(学識経験者・学校代表・地域代表・保護者代表・市教育委員会)。取組についての指導を仰ぎ、地域や保護者に説明、報告等を行い、今後に向けた方向性を検討。会長として、京都産業大学教授・西川信廣氏を招聘。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14日(水)小中一貫合同研修会を実施。乗り入れ授業、「やぶ・ふるさと教育カリキュラム」についての検討。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26日(月)学校職員による推進委員会を開催。進捗状況の確認、今後の方策に向けての協議。

1月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校での活動推進(「ふるさと教育・キャリア教育」のカリキュラムの修正、情報収集、モデル校区内の連絡調整等)。 ・16日(月)市算数・数学部会を実施。系統性を押さえた表を作成していく計画立案。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16日(月)～2月6日(月)の間に、小学5年生へ中学校教員が乗り入れ授業を実施。小学6年生が中学校舎へ出向き、中学校教員の授業を受講。教科としては、国語、数学、英語、音楽を実施。 ・20日(金)小学5、6年生と中学1、2年生の小中合同交流会。 ・25日(水)SC等を活用したカウンセリング・マインド研修会を小・中学校合同で開催。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20日(金)小学6年生の中学校登校。 ・25日(水)専門部会を実施し、本年度の反省と次年度に向けての取組を検討。 ・31日(火)校区推進委員会(学校代表・地域代表・保護者代表)を開催し、取組の共有と今後についての理解を得た。
2月	<p>【市教育委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年目の取組をまとめた成果物(リーフレット)を作成し、市内全校の保護者に配布。 <p>【関宮中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日(水)Q-U調査結果の分析結果によるQ-U調査結果分析研修会(講師招聘)を小・中学校合同で開催。 ・1日(水)小中一貫合同研修会を実施し、「やぶ・ふるさと教育カリキュラム」の検討。 ・6日(月)～10日(金)小中相互授業参観週間を設定し、小中学校教員が相互に授業参観。 <p>【養父中学校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8日(水)学年部会を開催。本年度の反省と今後の課題の確認、次年度の計画についての協議。 ・15日(水)養父中校区推進委員会を開催。本年度の取組の成果と課題、次年度に向け協議。

(3) 取組の成果

<p>モデル校区の1つである養父校区では、年度当初からの計画立案により、全体に係る推進委員会、前期・中期・後期の指導区分に分けた学年部会、教科等による研修を深める教科等部会を校区内の全小中学校で共通理解のもと、計画的に進めることができた。それにより、講師の招聘、授業研究会等、見通しをもった取組ができた。また、6年生登校により、昨年度調査結果と比較すると、「進学を楽しみにしている」という小学6年生の割合が高まっている。</p> <p>もう一つのモデル校区である関宮校区では、小中一貫教育コーディネーターを活用し、これまでの小中連携での取組を土台とした「やぶ・ふるさと教育カリキュラム」の作成を行った。また、学校が隣接しているため、乗り入れ授業、交流会等、教師のみならず児童生徒が直接移動する活動も増えたことにより、こちらの校区においても「進学を楽しみにしている」という小学6年生の割合が高まっている。</p> <p>市教育委員会では、先進校視察の複数回実施や市全職員研修会等での講師招聘を通して、小中一貫教育についての理解を深めたり、今後の方向性について専門的な見地から指導を得たりしたことは、取組の大きな推進力となった。</p>
--

(4) 今後の取組予定

<p>モデル校区におけるこれまでの取組の成果を生かして、市内全中学校区において小中一貫教育を推進する。系統性や連続性を重視した教科等の指導系統図等の作成や指導方法のさらなる工夫・改善を行う。その際、5つの教科等部会に絞って、講師を招聘して研究を深めていく。本年度作成した「やぶ・ふるさと教育カリキュラム」を基に実践を通して実践事例集等を作成するなど、さらに取組をブラッシュアップしていく予定である。</p>
